

be動詞の3つの使い分け

	主語	例文	ポイント
肯定文	1人称	I <u>am</u> happy. 私は幸せです。	<p>「否定文」の時には、 be動詞の後ろに「not」を置きます。</p> <p>I <u>am not</u>=I'm <u>not</u> <u>are not</u>=aren't <u>is not</u>=isn't</p> <p>「疑問文」の時には、 文の先頭にbe動詞を置きます。</p> <p>肯定分の主語とbe動詞を入れ替えて ?を付ける。</p>
	2人称	You <u>are</u> happy. あなたは幸せです。	
	3人称単数	Mike <u>is</u> happy. マイクは幸せです。	
	3人称複数	They <u>are</u> happy. 彼らは幸せです。	
否定文	1人称	I <u>am not</u> happy. 私は幸せではありません。	
	2人称	You <u>are not</u> happy. あなたは幸せではありません。	
	3人称単数	Mike <u>is not</u> happy. マイクは幸せではありません。	
	3人称複数	They <u>are not</u> happy. 彼らは幸せではありません。	
疑問文	1人称		
	2人称	<u>Are you</u> happy? あなたは幸せですか？	
	3人称単数	<u>Is Mike</u> happy? マイクは幸せですか？	
	3人称複数	<u>Are they</u> happy? 彼らは幸せですか？	